Магкі магкі вох.

sketchbook2 操作ガイド

--- 目次 ---

1. sketchbook2 に関する基本仕様	2
2. ホーム画面の説明	3
3. テキストフィールドの作成方法	5
4. 打刻方法	5
5. プロパティの説明	6
6. 円弧マーキング	7
7.2D コードマーキング	7
8. 図形マーキング	8
9. バイパス設定(干渉物を避けたいとき)	8
10. シリアルマーキング	8
11. カレンダーマーキング	9
12. フォント、ロゴ編集	0
13. ロゴマーキング	2

14. シフトマーキング
15. ファイルマーキング
16. バーコードスキャンマーキング
17. CSV マーキング
18. DXF コンバーター 15
19. BMP コンバーター 15
20. 円周装置 16
21. D.I/O モニター 17
22. メンテナンス表示設定17
附録 1 MB2S コントローラ外部接続用 D.I/O 図面…18
附録 2 円周装置(チャック式円周装置)の接続19
お問合せ先20



この度は、MarkinBOX シリーズを御購入いただきありがとうございます。 本機を正しくご使用頂くために、ご使用前に必ず本書をよくお読みになり、取扱 操作や注意事項を充分にご理解下さい。お読みになった後は MarkinBOX シリー ズをお使いになる方がいつでも読むことができるように大切に保管してください。 取扱に関する注意事項は、別冊"sketchbook2 スタートアップガイド"に記載され ていますので、操作前に必ず一読願います。

> トーチョーマーキングシステムズ株式会社 オリジナル言語:日本語

1. sketchbook2 に関する基本仕様

打刻方法	- MB モード(打刻ヘッドのスタート / ストップボタンから打刻 開始)* 電源 OFF 後も保存されるデータ記憶機能付 - PC モード(コンピューターのスタートアイコンから打刻開始)
打刻力設定 	- 0(打刻無)~99(打刻強)
打刻速度設定	- 1(遅い)~99(速い)
標準フォント設定	- MB フォント(オリジナルフォント) - 5 × 7 フォント(速度優先フォント) - PC フォント(アウトライン形式、コンピューター接続時有効)
テキストフィールドに入力できる 文字数	- 50 文字まで(半角英数)
ーつのファイルに入力できる テキストフィールド数	- 50 フィールドまで
MB2S コントローラに保存できる ファイル数	- 255 ファイルまで
2D コード (DM、QR) に入力 可能文字	- 0-9 A-Z a-z 各種記号 *QR コードは、上記に加え、かな、カナ、漢字、制御コード
2D コード (DM、QR) に入力で きる文字数	- 50 文字まで(半角英数)
ーつのファイルに設定できる シリアル数	- 4 シリアルまで
カウントアップできるシリアル桁数	- 最大 8 桁 1~9999999
対応可能な日付打刻	- 年4桁、2桁、1桁 - 月2桁、1桁 - 日2桁、1桁 - 時間2桁、分2桁、秒2桁 - ユリウス暦3桁(ジュリアンデート)
シフト区分け打刻	- 24 時間 最大 5 シフトまで
MB2S コントローラに登録できる ロゴ数	- 31 ロゴまで
変換できる DXF データ	- 直線、円、楕円、多角形 * スプライン、文字は非対応
ビットマップ(BMP)マーキング の種類	- フィル(塗りつぶし) - アウトライン
パスワードによるレベル設定	- 管理者(フル機能) - 操作者(制限付き機能)

МагкіпВОХ.

2. ホーム画面の説明



1) ツールバーの説明

Online	通信アイコン オンライン、オフラインの切り替えができます。
Home	原点復帰アイコン ピンが原点に戻ります。
TEST	シミュレーションアイコン 打刻シミュレーションができます。クリック後、打刻ヘッドのスタート/ス トップボタンを押してください。シミュレーションを終了する場合は、本ア イコンをクリックするか、スタート/ストップボタンを長押しして下さい。
Start	スタートアイコン MBモード選択時:打刻データを送信します。打刻ヘッドのスタート/ストップ ボタンで開始して下さい。 PCモード選択時:打刻を開始します。
Jogging	ジョギングアイコン ピンを目視で移動できます。
New File	新規ファイルアイコン(オールクリア) 現在のデータを消去し、新規ファイルを作成します。MB モード時は、打刻 データ保持機能が消去されます。

2) テキストバーの説明

A Text	テキストアイコン テキストフィールドを作成します。
Shapes	図形アイコン 各種図形を作成します。
DXF	DXF アイコン FDX データ(DXF コンバーターで変換後のデータ)を読込ます。
ВМР	BMP アイコン MBP データ(BMP コンバーターで変換後のデータ)を読込みます。
Bypass	バイパスアイコン バイパスポイントを作成します。

3) ダッシュボードの説明

ダッシュボードの編集方法

Shift キー+クリック	列を全選択できます。
Ctrl キー+クリック	列を複数選択できます。
セルをダブルクリック	直接入力できます。

	·> ·>			
	·>			
<u> </u>				
_				
ます。	_			
	_			
	_			
	_			
	_			
-	ます。			

ダッシュボードのメニューバー説明

Mark	打刻の有無を選択できます。	W	文字横幅を編集できます。
Туре	テキストタイプを表示します。	Ρ	ピッチを編集できます。
Text	テキストを編集できます。	V.P.	縦ピッチ (Y 軸方向) を編集できます。
F(Font)	フォントを選択できます。	F	打刻力を編集できます。
Х	X 座標値を編集できます。	S	速度を編集できます。
Y	Y 座標値を編集できます。	Pa.	ポーズの有無を選択できます。
А	角度を編集できます。	R	リバース (打刻方向) を選択できます。
Н	文字高を編集できます。		

3. テキストフィールドの作成方法

- 1) 打刻エリア内をクリック又は左のテキストバーから "A アイコン"をクリックし、ドローイングします(クリック&ドロー)。
- 2) テキストフィールド枠作成後、テキストスタイルを選択します。
- 3) プロパティ画面から、半角英数でテキスト入力し、"Done"ボタン又は"Enter キー" を押下し確定します。なお、フィールドの色が赤の場合は、打刻エリア外です。青に 変わるまで XY 座標値を戻すか、文字高やピッチを調整して下さい。
- 4) フィールドの枠を上下左右動かすと、文字の大きさやピッチを自由にストレッチできます。

4. 打刻方法

MBモード

- メニューバーの"環境設定"→ "一般設定 (Settings)"→ "打刻モード設定"
 内から "MB モード"を選択し、"Done" ボタンで確定します。
- 2) ツールバーの "スタートアイコン" をクリックし、打刻データをコントローラに送信 します。
- 打刻ヘッドの "スタート / ストップボタン" で打刻を開始します。打刻データは、 フラッシュメモリーに記憶され、電源再立上げ後も継続的に打刻することができます。

PCモード

- メニューバーの"環境設定" → "一般設定 (Settings)" → "打刻モード設定"
 内から "PC モード"を選択し、"Done"ボタンで確定します。
- 2) ツールバーの"スタートアイコン"をクリックし、打刻を開始します。

5. プロパティの説明

テキストフィールドをダブルクリックまたは右クリックでプロパティを選択すると、プロパティ画面が表示されます。プロパティ画面では、文字高、打刻力 / 速度、XY 座標値、フォント選択、その他シリアルや日付打刻などの設定が行えます。

*標準仕様の説明です。

Text	打刻実行、非実行ボタン "打刻する"、"打刻しない"、の切り替えができます。
Done	Done ボタン 設定後、確定させるために必ずクリックして下さい。
Height & Width	文字高アイコン 文字高、文字幅、ピッチの設定が行えます。文字幅は、文字の高さに対しての 比率で設定します。
Force & Speed	打刻力、速度アイコン かんたん設定:打刻力(強、中、弱)と速度(速、中、遅)を選択するだけで、 文字品質が自動的に設定されます。 アドバンス設定:打刻力(0~99)、打刻速度(1~99)を任意に設定できます。
Jogging	ジョギングアイコン X 軸、Y 軸、角度を任意に設定できます。 ジョギングアイコン: ON にすると、ピンの目視移動で、位置を設定できます。 リフェレンスポイント:座標の基準点を変更できます。
Font	フォントスタイルアイコン 全てのフォントのタイプは、プロポーショナルフォント(文字間の隙間を調整)、 ピッチフォント(文字中心間のピッチを調整)の2種類から選択できます。 MBフォント(デフォルトフォント): MarkinBOX オリジナルフォントです。 5×7フォント:縦7、横5ドットで構成される点フォントです。打刻速度 を早くしたい場合に有効です。 PCフォント: Windows 内のフォントを打刻します。"環境設定"→"フォ
	フト(フォント設定) からフォントダイフを選択して下さい。 アウトライン形式になります。コンピューター接続時のみ使用 できます。
More	その他設定アイコン ミラー文字:文字を反転させたい時に ON してください。 ポーズ:フィールド毎に、一時停止させたい時に ON してください。打刻開始 位置で一時停止し、起動ボタンで打刻を再開します。 リバース:文字列の後ろから打刻させたい時に ON してください。時間短縮に つながります。
	カレンダー:日付打刻やシフト打刻をしたい時に設定して下さい(別途参照)。 シリアル機能:連番打刻をしたい時に設定して下さい(別途参照)。 ロゴ:ロゴ編集画面で作成したロゴを打刻できます(別途参照)。

6. 円弧マーキング

- 1) 打刻エリア内をクリック又は左のテキストバーから "A アイコン"をクリックし、ド ローイングします (クリック&ドロー)。
- 2) テキストフィールド枠作成後、"円弧アイコン (Arc)"を選択します。
- 3) プロパティ画面で、半角英数でテキスト入力し、"Done"ボタンまたは"Enter キー" を押下し確定します。なお、フィールドの色が赤の場合は、打刻エリア外です。青に 変わるまで XY 座標値を戻すか、文字高やピッチを調整して下さい。
- 4) フィールド枠下にある3点(開始点、中心点、終了点)をクリックアンドドローで
 移動させ、"Enter キー"を押下し確定します。
- 5) "プロパティ" → "ジョギング (円弧ポジション設定)"から、より詳細な設定が 行えます。

ヒント: "ジョギング(円弧ポジション設定)" → "リフェレンスポイント(基準点設定)"で中心 点を選択し、角度を0度にすると、中心を基準に、半径やピッチを調整できます。

7.2D コードマーキング

- 打刻エリア内をクリック又は左のテキストバーから "A アイコン"をクリックし、ドローイングします(クリック&ドロー)。
- 2) テキストフィールド枠作成後、"2D コードアイコン"を選択します。
- 3) プロパティ画面から、テキストを入力し、"Done" ボタンまたは "Enter キー" を押 下し確定します。

Data Matrix	2D コードタイプアイコン データマトリックス、QR コードの切り替えができます。
Link & Dimensions	フィールドリンクと次元数の設定アイコン テキストフィールドの文字内容を 2D コードにリンクすることができます。 リンクさせたいテキストフィールドを選択して下さい(事前に、テキスト フィールドを作成して下さい)。また、データマトリックスは、次元数を選 択できます。大きさによってドット数を選択して下さい。
One-way	打刻方向アイコン 単方向:グレードの高い 2D コードを目指す場合に有効です。 双方向:打刻時間を短縮したい時に有効です。

MMarkinBOX

2D コードの角度付き打刻について 2D コードの精度向上ため、打刻ピンが打刻 開始点より X 軸プラス方向へ進んでから打 刻しますので、角度付きの打刻は XY 座標に

5mm ほど余裕をもたせて設定してください。

角度付例: 180 度回転



8. 図形マーキング

- 1) 打刻エリア内をクリック又は左のテキストバーから"図形アイコン"をクリックし、 ドローイングします(クリック&ドロー)。
- 2) テキストフィールド枠作成後、図形を選択します。
- 3) プロパティ画面から詳細設定をして下さい。
- 4) 設定後、"スタートアイコン"をクリックし、打刻を実行してください。

9. バイパス設定(干渉物を避けたいとき)

ピンの軌跡をプログラムできます。干渉物を避けたい場合や任意の場所で点を打刻した いときに有効です。

- 1) 打刻エリア内をクリック又は左のテキストバーから"バイパスアイコン (Bypass)" をクリックし、ドローイングします (クリック&ドロー)。
- 2) 打刻エリアにXマークが表示されますので、プロパティ画面から詳細設定をして下 さい。

ヒント:打刻力を0にすれば、打刻されません。また打刻力を設定すれば、点を打刻することもで きます。ポーズ時間を設定できますので、最大15秒間停止させることも可能です。

10. シリアルマーキング

- 1) MB2S コントローラが接続されている状態で、フィールド枠を作成し、"プロパティ"
 → "その他設定アイコン (More)" → "シリアルアイコン"を選択して下さい。
- 2) フォーマットを選択します。
- 3) 数値もしくはアルファベットの最大値、最小値、現在値を入力します。
- 4) リセット方法を選択します。
- 5) 繰り返し回数、スキップ数を選択します。
- "Done"ボタンで確定します。確定後、打刻エリアのテキストフィールドにシリアル が表示されます。シンボルは@S[n-N]です。(nは現在値、Nはシリアル No. を表示

します)。

ヒント:一つのテキストフィールドに、2種類以上のシリアル設定はできません。一つのファイル に2種類以上のシリアルを設定したい時は、別々のテキストフィールドを作って下さい。 また、一つのファイルに最大4種類までシリアル設定が可能です。

フォーマット	0001	001、002…099…999 など 0 付きシリアル時に選択して下さい。
	1	1、2…99…999 など左詰め0無しシリアル時に選択して下さい。
	1	1、2…99…999 など右詰め 0 無しシリアル時に選択して下さい。
	A.B.C	A、B…Z などアルファベットをカウントアップしたい時に選択し
	/ (, 2, 0	て下さい。
	最大値	シリアル最大値 8 桁 99999999 まで入力できます。
数値	最小値	最大値到達後、リセットする最小値を入力します。
	現在値	現在値が表示されます。また、入力した値からシリアル打刻を開始
		できます。
	最大値	アルファベットの最大値A~Ζを選択して下さい。
 アルファベット	最小値	最大値到達後、リセットする最小値 A ~ Z を選択して下さい。
	泪左値	現在値が表示されます。また、選択した値からシリアル打刻を開始
		できます。
	MAX	最大値到達後、リセットします。
	YEAR	年更新後、リセットします(毎年1月1日でリセットします)。
	MONTH	月更新後、リセットします(毎月1日でリセットします)。
リセット	DAY	日更新後、リセットします(毎日 24:00 でリセットします)。
	TIME	設定した時間でリセットします。
	SHIFT	設定したシフト毎にリセットします。
	STOP	最大値到達後、打刻を停止します。アラーム表示されます。
繰り返し回数		001、001、002、002、というようにシリアルを繰り返したいと
		きに設定します。最大 10 回です。
スキップ数		001、003、005、というようにシリアルをスキップしたい時に有
		効です。最大 10 スキップまでです。

11. カレンダーマーキング

- MB2S コントローラが接続されている状態で、メニューバーの"環境設定" → "カレンダー (Calendar)"から、DAY(日)、MONTH(月)、YEAR(年)内の1桁 用の表記文字を入力し、最後に"Done"ボタンで確定します。
- フィールド枠を作成し、"プロパティ" → "その他設定アイコン (More)" →
 "カレンダーアイコン"を選択して下さい。
- 3) 打刻したいカレンダーのボタンをクリックします。
- 4) "Done" ボタンを押下して確定します。確定後、打刻エリアのテキストフィールドに

年	YYYY	2017、2018 などのように年を 4 桁で表示したい時に選択してく ださい。
	ΥY	17、18 などのように年を下 2 桁で表示したい時に選択して下さい。
	Y	7、8 または別のシンボルで年を下 1 桁で表示したい時に選択して 下さい。事前に、"環境設定" → "カレンダー" 内の "YEAR" ボ タンで設定します。
月	MM	01、02 などのように月を 2 桁で表示したい時に選択して下さい。
	Μ	1、2 または別のシンボルで月を 1 桁で表示したい時に選択して下 さい。事前に、"環境設定" → "カレンダー" 内の "MONTH" ボ タンで設定します。
日付	DD	01、02 などのように日を 2 桁で表示したい時に選択して下さい。
	D	1、2 または別のシンボルで日を 1 桁で表示したい時に選択して下 さい。事前に、"環境設定" → "カレンダー" 内の "DAY" ボタン で設定します。
	JJJ	ユリウス暦(年通し日付、日付を 001 ~ 365 まで表示します)で 表示したい時に選択して下さい。
時間	hh	01、12 などのように時間を 2 桁表示したい時に選択して下さい。
	mm	01、30 などのように分を 2 桁表示したい時に選択して下さい。
	SS	01、30 などのように秒を 2 桁表示したい時に選択して下さい。

カレンダーが表示されます。シンボルは@C[XX]です。

12. フォント、ロゴ編集

MB2S コントローラに登録できるフォントやロゴを作成します。 BMP や JPEG などの下地を表示させ、その上をトレースします。一筆書きで描ける範囲 を 1 つのグループとし、A の場合、下記のように 2 つのグループ構成となります。

グループ No.1







フォントの修正方法

- 1) メニューバーの"フォント編集"をクリックします。
- 2) "Read" ボタンをクリックし、 "TEXT" 欄で修正したいフォントを入力し、 "Done" ボ タンで確定します。
- 3) "Browse" ボタンをクリックし、下地フォントを選択し読込みます。読込後、必要に 応じて、拡大や縮小、移動などの調整をし、"Done" ボタンで確定します。
- グループリスト表内のグループ欄をクリックし、点をドローイングで修正します。
 また、ポイントリストから、座標値をそのまま直接入力することも可能です。
- 5) 修正後、"Save" ボタンをクリックし、上書き保存する場合は "Yes" ボタンをクリック、 別のフォント名で保存する場合は "No" ボタンをクリックし、指定先に保存します。
- 6) "Done" ボタンで確定後、MB2S コントローラへ転送して下さい。

ロゴの新規作成方法

- 1) メニューバーの"ロゴ編集"をクリックします。
- 2) "Browse" ボタンをクリックし、下地ロゴ(BMPもしくはJPEG)を読込みます。読込後、 必要に応じて、拡大や縮小、移動などの調整をし、"Done" ボタンで確定します。
- 3) "Add" ボタンをクリックし、点を追加しながら下地をトレースしていきます。グルー プを増やす場合は、"Add" ボタンで追加して下さい。一つのグループに最大 31 ポイ ントまで登録できます。

- 4)修正をする場合は、グループリスト表内のグループ欄をクリックし、点をマウス操作 で修正します。また、ポイントリストから、座標値をそのまま直接入力することも可 能です。
- グループ全体を削除する場合は、グループリスト表内のグループ欄をクリックし、
 "Delete" ボタンを押下します。また、ポイントリストで、座標値を "Delete" ボタン で削除することも可能です。
- 6) 作成後、"Save" ボタンをクリックし、"LOGO"欄からロゴ No. を選択します。
- 7) "Done" ボタンで確定後、MB2S コントローラへ転送して下さい。

ロゴの修正方法

- 1) メニューバーの"ロゴ編集"をクリックします。
- 2) "Read" ボタンをクリックし、"LOGO" 欄で修正したいロゴを選択し、"Done" ボタンで確定します。
- グループリスト表内のグループ欄をクリックし、点をドローイングで修正します。また、ポイントリストから、座標値をそのまま直接入力することも可能です。
- 4) 修正後、"Save" ボタンをクリックし、上書き保存する場合は "Yes" ボタンをクリック、 別のロゴ名で保存する場合は "No" ボタンをクリックし、指定先に保存します。
- 5) "Done" ボタンで確定後、MB2S コントローラへ保存して下さい。

フォントやロゴの削除方法

- 1) "Read" ボタンをクリックし、 "TEXT" または "LOGO" 欄で削除したいフォントやロ ゴを入力または選択し、 "Done" ボタンで確定します。
- 2) 作成画面に文字やロゴが表示されますので、画面左側上部の"Delete"ボタンで削除 を実行します。

ヒント:コントローラにフォントの転送を行わないと打刻文字が有効になりません。必ずコントロー ラへフォントファイルを送信して下さい。

13. ロゴマーキング

* ロゴ作成方法は、別途参照して下さい。

- 1) 打刻エリア内をクリック又は左のテキストバーから "A アイコン" をクリックし、ド ローイングします (クリック&ドロー)。
- 2) テキストフィールド枠作成後、"ロゴアイコン (Mマーク)"を選択します。

- 3) ロゴ入力画面で、事前に作成したロゴを選択して、取込みます(シンボルは@L[nn] で nn にロゴ No. が入ります)。
- 4) 打刻エリア内に選択されたロゴが表示されますので、プロパティ画面から詳細設定を して下さい。設定後、"スタートアイコン"をクリックし、打刻を実行してください。

14. シフトマーキング

- MB2S コントローラが接続されている状態で、メニューバーの"環境設定"→
 "カレンダー (Calendar)"→ "SHIFT"から、表記(表記文字)、シフト開始時間、
 シフト終了時間、を入力し、最後に "Done" ボタンで確定します。
- フィールド枠を作成し、"プロパティ" → "その他設定アイコン (More)" → "カレンダーアイコン"を選択して下さい。
- 3) シフト "S" ボタンをクリックします。
- 4) "Done" ボタンで確定します。確定後、打刻エリアのテキストフィールドにシフト表 記が表示されます。シンボルは @C[S] です。

15. ファイルマーキング

MB2S コントローラが接続されている状態で、メニューバーの"ファイルマーキング"を 選択します。255 ファイルまで、MB2S コントローラに保存できます。

Send File	ファイル送信アイコン ファイルを MB2S コントローラに送信します。ファイル名も半角 8 文字まで 付加できます。
Read File	ファイル読込アイコン ファイルを MB2S コントローラから読込ます。
Delete File	ファイル削除アイコン ファイルを MB2S コントローラから削除します。
Send All Files	ファイルー括送信アイコン 選択した複数ファイルを MB2S コントローラに一括送信します。 送信できるファイルは下記の通りです。 1.「ファイルー括読込」アイコンからコンピューターに一度読込したファイル。 2. ファイル名に半角英数で「F001_」が頭に付加されているファイル (例:F001_test F001 から F255 まで登録可能です)。 本操作により、コントローラに保存されている全ファイルの差替えを実行しま すのでご注意願います。

Read All Files	ファイルー括読込アイコン MB2S コントローラに保存されている全ファイルを一括読込ます。
Delete All Files	ファイルー括削除アイコン MB2S コントローラに保存されている全ファイルを一括削除します。

16. バーコードスキャンマーキング

バーコードリーダーで読取ったデータをそのまま転送、打刻できます。

- 1) バーコードリーダーを、sketchbook2 がインストールされているコンピューターに接続して下さい。
- 2) 読取りしたデータを転送するためのテキストフィールドを作成します。
- 3) メニューバーの"バーコードスキャンマーキング"を選択します。
- 4) "リンクフィールド"から、先に作成したフィールド No. を選んで下さい。
- 5) 誤打刻を防ぐために、"スキャン桁数"から読取桁数を選択します。桁数設定の必要が ない場合は、"None"を選択して下さい。
- 6) カーソルが文字枠にある状態で、バーコードリーダーで読取を開始します。
- 7) 打刻文字が自動的にフィールドに転送されますので、"スタートアイコン"から打刻を 実行して下さい。

17. CSV マーキング

データベースのようなエクセルデータを CSV 形 式に保存し、そのまま転送、打刻できます。

- エクセルデータをCSV(カンマ区切り)形式 に保存して下さい。横の列(A、B、C・・・) にフィールド No.1、No.2、No.3・・・を、 縦の行(1、2、3・・・)に打刻の順番にな るように作成してください。
- 2) 転送させたいテキストフィールドを作成します。
- メニューバーの "CSV マーキング"を選択します。
- 4) 先に作った CSV データを読込ます。

	А	В	С	
1	TOKYO, JAPAN	NOV.2016	0001	
2	TOKYO, JAPAN	NOV.2016	0002	
3	TOKYO, JAPAN	NOV.2016	0003	
4	TOKYO, JAPAN	NOV.2016	0004	
5	TOKYO, JAPAN	NOV.2016	0005	
6	TOKYO, JAPAN	NOV.2016	0006	
7	TOKYO, JAPAN	NOV.2016	0007	
8	TOKYO, JAPAN	NOV.2016	0008	
9	TOKYO, JAPAN	NOV.2016	0009	
10	TOKYO, JAPAN	NOV.2016	0010	
11	TOKYO, JAPAN	NOV.2016	0011	
12	TOKYO, JAPAN	NOV.2016	0012	
13	TOKYO, JAPAN	NOV.2016	0013	
14	TOKYO, JAPAN	NOV.2016	0014	
15	TOKYO, JAPAN	NOV.2016	0015	
16	TOKYO, JAPAN	NOV.2016	0016	
17	TOKYO, JAPAN	NOV.2016	0017	
10	TOKYO LADAN	NOV 2010	0010	

- **Магкі** магкі вох.
- 5) 読込後、"スタートアイコン"をクリックしてください。打刻文字が自動的にフィール ドに転送されます。

18. DXF コンバーター

DXF データを MarkinBOX 用打刻データ(*fdx)に変換し、打刻できます。

- 1) メニューバーの "DXF コンバーター"を選択します。
- 2) DXF データを選択し、読込ます。読込後、打刻エリアにデータが表示されますので、 必要であれば、拡大や縮小などの調整をして下さい。
- 3) "Convert" ボタンをクリックし、*fdx データに変換、保存します。
- 4) 打刻エリア内をクリック又は左のテキストバーから "DXF アイコン"をクリックし、 ドローイングします (クリック&ドロー)。
- 5) 保存した *fdx データを選択し、読込ます。
- 6) 打刻エリア内に選択された DXF データが表示されますので、プロパティ画面から詳細 設定をして下さい。
- 7) 設定後、"スタートアイコン"ボタンをクリックし、打刻を実行してください。
 - * 取込める DXF データは、直線、円、楕円、多角形に対応しています。スプラインや 文字には対応していません。
 - * 取込める DXF データは、一つのファイルに 1 種のみです。2 種以上の取込はできま せん。
 - *コンピューターが接続されている状態で打刻できます。
 - *ファイルマーキングはできません。

19. BMP コンバーター

ビットマップ (BMP) データを MarkinBOX 用打刻データ (*mbp) に変換し、打刻できます。

- 1) メニューバーの "BMP コンバーター"を選択します。
- 2) BMP データを選択し、読込ます。読込後、右のプレビュー欄にデータが表示されますので、ドラッグ操作でオブジェクトを選択し、トリミングして下さい。必要であれば、拡大や縮小、移動などの調整をして下さい。
- 3) 設定後、"Next"ボタンをクリックし、次画面へ進みます。
- 4) "Density" と "Contrast" ボタンをクリックし、矢印キーでドットの密度や陰影を調整 します。

- 5) "Fill" (塗りつぶし) と "Outline" のどちらかを選択して下さい。
- 8) 設定後、"Convert" ボタンをクリックし、*mbp データに変換、保存します。
- f刻エリア内をクリック又は左のテキストバーから "BMP アイコン" をクリックし、 ドローイングします (クリック&ドロー)。
- 7) 保存した *mbp データを選択し、読込ます。
- 8) 打刻エリア内に選択された BMP データが表示されますので、プロパティ画面から詳 細設定をして下さい。
- 9) 設定後、"スタートアイコン"ボタンをクリックし、打刻を実行してください。
 - * 取込める BMP データは、一つのファイルに 1 種のみです。2 種以上の取込はできません。
 - * コンピューターが接続されている状態で打刻できます。
 - *ファイルマーキングはできません。

20. 円周装置

MB S-Rotary

専用のローラー円周装置(オプション)が必要です。

- メニューバーの"環境設定"→ "円周設定 (Cylinder)"を選択し、"S-Rotary"アイ コンをクリックします。
- 2) "桁数"欄をクリックし、連続して打刻したい桁数を選択します(最大5桁まで)。
- 3) "停止時間"欄をクリックし、打刻後に停止したい時間を選択します(最大5秒まで)。
- 4) "Done" ボタンで確定します。
- 5) 打刻フィールドを作成し、"スタートアイコン"ボタンから打刻を実行して下さい。

MB Chuck Rotary

専用の MB2S コントローラ、チャック式円周装置(オプション)が必要です。

- 1) メニューバーの"環境設定"→ "円周設定 (Cylinder)"を選択し、"Chuck Rotary" アイコンをクリックします。
- 2) "円周装置"をクリックし"使用"を選択します。
- 3) "円周設定方向"からチャック式円周装置を設置した向きを選択します。
- 4) "チャック寸法"をクリックし、チャックの種類を選択します。
- 5) "ワーク直径"をmm単位で半角入力します。
- 6) X、Y 軸のジョギングアイコンをクリック、又は数値を直接入力し、打刻開始位置まで

ピンを移動させます

- 7) "Done" ボタンで確定後、ピンが原点に戻ります。
- 8) 打刻フィールド(円周設定方向により角度をつけてください)を作成し、"スタートア イコン"ボタンから打刻を実行して下さい。

21. D.I/O モニタ

PLC などの外部機器を D-Sub37 ピンを使用して接続する場合、MB2S コントローラの 動作をシミュレーションすることができます。メニューバーの"D.I/O モニタ"を選択し、 画面上部にある、"シミュレーションモード"をチェックすると、ボタン押下が有効になり、 MB2S コントローラの D.I/O 動作確認を実行できます。配線は、附録の I.O コネクタ (D.I/ O) 配線図を参照してください。

22. メンテナンス表示設定

ピンの振動回数をカウントし、設定周期毎に、ピンやピンホルダーなどのメンテナンスを 促すことができます。メニューバーの"環境設定 → "メンテナンス"を選択して下さい。

- 1) 設定振動回数に、メンテナンス周期となる回数を入力して下さい。
- 2) 設定回数到達時メッセージ表示を"有り"にチェックします。
- 3) 出力方法を選択し、"Done"ボタンを押下します。
- 4) 打刻中、設定回数に到達したら、"Reset" ボタンを押下し、0 に戻します。

附録 1 MB2S コントローラ外部接続用 D.I/O 図面



附録2 円周装置(チャック式円周装置)の接続

接続方法は、下記の通りです。接続は、必ず電源 OFF の状態で行ってください。

接続例:1010(全機種同設定)

専用ケーブルイメージ

ヘッド接続イメージ



コントローラ接続イメージ





お問合せ先

操作方法や故障などの問い合わせは下記にご連絡ください

トーチョーマーキングシステムズ株式会社 サポート窓口 電話:043-308-4301 (代表) FAX:043-308-4302 Email:support@tokyo-chokoku.co.jp 発送先:〒289-1144 千葉県八街市八街ろ 87 番 378 URL:https://www.tokyo-chokoku.co.jp